

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第42週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (42週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 6例。3類感染症：報告なし。  
 4類感染症：日本紅斑熱 1例、レジオネラ症 1例。5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例、急性弛緩性麻痺 1例、侵襲性肺炎球菌感染症 1例、百日咳 2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	肺結核	咳、痰
			70歳代	男	無症状病原体保有者	—
			70歳代	男	肺結核	肺野上陰影
		日向	70歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	女	無症状病原体保有者	—
			90歳代	女	肺結核	咳、発熱
4類	日本紅斑熱	日南	80歳代	男	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常
	レジオネラ症	都城	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、意識障害、肺炎
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	延岡	70歳代	男	—	尿路感染症、菌血症、敗血症
	急性弛緩性麻痺	宮崎市	0~4歳	女	病原体不明	弛緩性麻痺、深部腱反射低下、髄液細胞数増加、咳、鼻汁
	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	80歳代	男	—	発熱、咳、全身倦怠感、意識障害、肺炎
	百日咳	宮崎市	5~9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
日向		30歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦	

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は639人(定点当たり21.8)で、前週比107%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患はヘルパンギーナと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病とRSウイルス感染症である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【感染性胃腸炎】

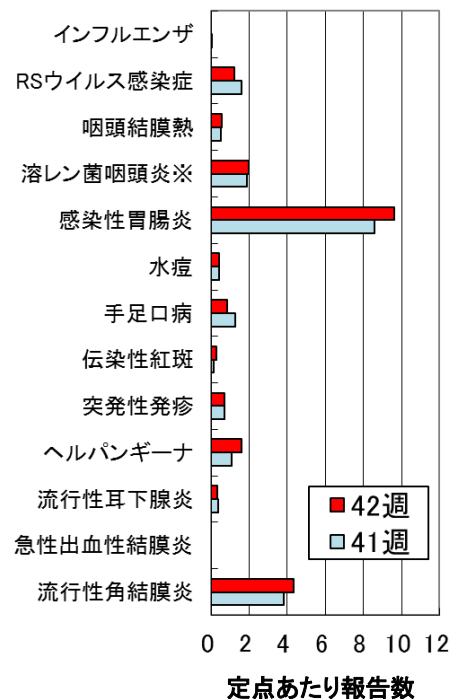
報告数は336人(9.6)で、前週比112%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(8.2)の約1.2倍である。小林(16.7)、日南(15.3)、中央(14.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~3歳が全体の約4割を占めている。

##### 【ヘルパンギーナ】

報告数は56人(1.6)で、前週比151%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.52)の約3.1倍である。延岡(3.8)、日南(3.3)、中央(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では6か月~2歳が全体の約8割を占めている。

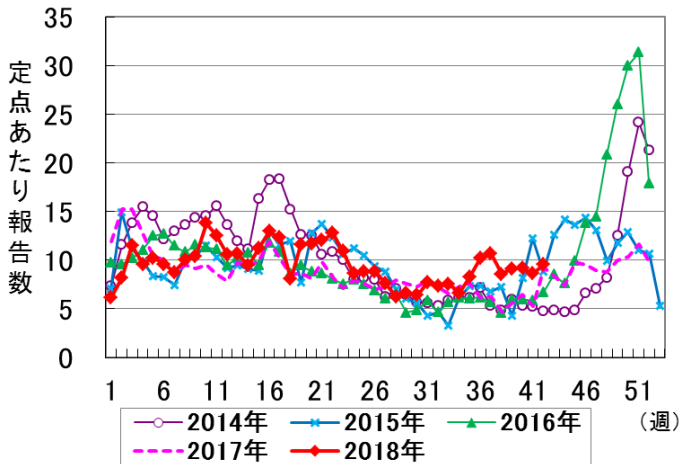
\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

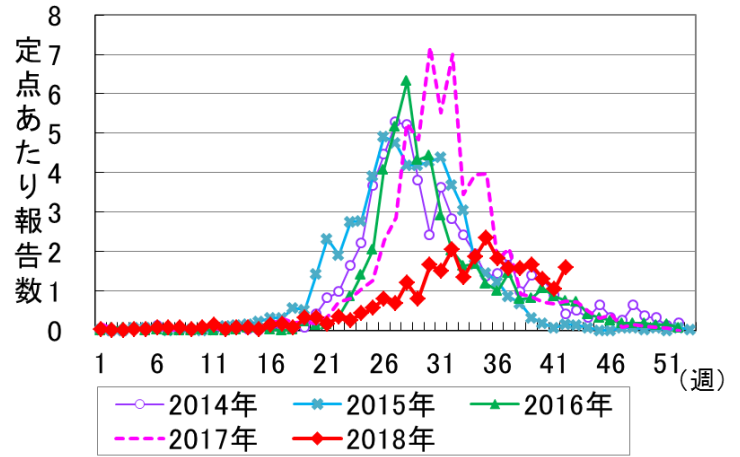


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎 発生状況



ヘルパンギーナ 発生状況



★基幹定点からの報告★  
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	水痘(1.7)
高鍋	水痘(1.8)
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

＊流行注意報レベル基準値＊  
・水痘(1.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 30 年 10 月 22 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
EHEC(O26:H11 VT1)	0～4歳	男	2018.09.27	下痢、血便、発熱(38.2℃)	便	2018.10.03
<i>Vibrio fluvialis</i>	50歳代	女	不明		胆汁	2018.10.12
<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	5～9歳	男	2018.10.01		便	2018.10.12
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	40歳代	女	2018.10.06	無症状	便	2018.10.12
EHEC(O26:H11 VT1)	10歳代	男	2018.10.02	無症状	便	2018.10.12

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
風疹ウイルス	50歳代	男	2018.10.10	風疹疑い、38.0℃、発疹(丘疹、紅斑)	尿 血液	2018.10.11

○50歳男性の尿、血液から風疹ウイルスが検出された。宮崎県では今年に入り、3件目の検出である。国立感染症研究所の報告によると、女性では20代、男性では30～40代の報告数が多くっており、遺伝子型別にみると、1Eが最も多く、次いで2B、1aとなっている。30代後半から50代の男性の5人に1人は風疹ウイルスに対する免疫をもっていないというデータもあることから、ワクチン接種歴の確認や抗体検査を実施するなどして、感染拡大の防止が望まれる。

## 🇯🇵 全国 2018 年第 41 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 41 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	282 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	54 例	腸チフス	4 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E 型肝炎	12 例	A 型肝炎	10 例	エキノコックス症	1 例
	オウム病	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	8 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	75 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	33 例
	急性弛緩性麻痺	5 例	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群	12 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	28 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	75 例
	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	172 例
	風しん	141 例	麻しん	9 例		

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 85%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はヘルパンギーナと R S ウイルス感染症である。

ヘルパンギーナの報告数は 1,734 人(0.55)で前週比 65%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\* (0.4)の約 1.4 倍である。香川県(2.1)、鹿児島県(1.8)、大分県・富山県(各 1.2)からの報告が多く、年齢群別では 6 か月～4 歳が全体の約 9 割を占めている。

流行性角結膜炎の報告数は 602 人(0.86)で前週比 85%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\* (0.73)の約 1.2 倍である。宮崎県(3.8)、沖縄県(3.3)、熊本県(2.8)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 3 割を占めている。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2018年 第42週(10月15日～10月21日)

疾病名		第41週	第42週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1										
	定点あたり	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	55	43	5	12	7	13	1	3		2	
	定点あたり	1.57	1.23	0.56	2.00	1.75	4.33	0.33	0.75	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	18	19	1	1	10	4	2			1	
	定点あたり	0.51	0.54	0.11	0.17	2.50	1.33	0.67	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	65	69	20	10	13	7	2	10		5	2
	定点あたり	1.86	1.97	2.22	1.67	3.25	2.33	0.67	2.50	0.00	1.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	301	336	84	66	8	46	50	34		34	14
	定点あたり	8.60	9.60	9.33	11.00	2.00	15.33	16.67	8.50	0.00	8.50	14.00
水痘	報告数	14	14	1				5	7		1	
	定点あたり	0.40	0.40	0.11	0.00	0.00	0.00	1.67	1.75	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	44	30	20	2	2	2				4	
	定点あたり	1.26	0.86	2.22	0.33	0.50	0.67	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	4	10	8	1		1					
	定点あたり	0.11	0.29	0.89	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	25	7	2	3	3	4	2		2	2
	定点あたり	0.71	0.71	0.78	0.33	0.75	1.00	1.33	0.50	0.00	0.50	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	37	56	16	4	15	10		4		4	3
	定点あたり	1.06	1.60	1.78	0.67	3.75	3.33	0.00	1.00	0.00	1.00	3.00
流行性耳下腺炎	報告数	13	11		3		7					1
	定点あたり	0.37	0.31	0.00	0.50	0.00	2.33	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	23	26	19	5	2						
	定点あたり	3.83	4.33	6.33	2.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～42週)

2類感染症	結核	139例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	36例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	1例	デング熱	1例	日本紅斑熱	17例(1)
	レジオネラ症	6例(1)	レプトスピラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10例(1)
	急性弛緩性麻痺	1例(1)	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	6例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	22例(1)	水痘(入院例)	1例	梅毒	3例
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	4例	百日咳	257例(2)
	風しん	3例				

( )内は今週届出分、再掲